

夕刊 新報 五月十五日發行

惜春賦 高瀨 駿 男

春、去れば夏きたるもの鳥が批の葉に...

小名川附近 大木 實

勝男、二十三夜塔に思ひ先づ一服、煙草はどても...

本社主催短歌會

日時 五月二十四日(日曜)午後一時

影を抱く女 山路不二男

隣家の主婦は、愛嬌の容れるやうな聲、否、さう下...

高橋是清

松浦 泉三郎作 佐々木今朝吉書

花片 私市 俊子

花に籠りしことの 日毎歌ゆける

逝く春に 淡 司代

一ひら 一ひら 春の名残りの はなびらが...

調大石良義墓 珠雲 小野務平

義烈千秋有典型 伴狂被酒影伶丁...

高橋是清

松浦 泉三郎作 佐々木今朝吉書

小 説

羽の小鳥が急に何かに驚い喜次は又ばつちりと目を開...

松村醫院

院長 松村 鐵郎 平町南町一〇七

アロフェノール

心ヨク通ジ薬 阿部 藥 舖

丸ほん冷蔵器

僅かの氷で非常に早くよく冷める...

耳鼻咽喉科

高柳博明 醫學博士

高柳博明

呼吸疾患救済の王...

吸入用酸素

體温計 (グレート)

丸ほん冷蔵器

僅かの氷で非常に早くよく冷める...

丸ほん商店

丸ほん商店

阿部藥局

阿部藥局

勉強ノ店

勉強ノ店

丸ほん冷蔵器

僅かの氷で非常に早くよく冷める...

丸ほん商店

丸ほん商店

阿部藥局

阿部藥局

勉強ノ店

勉強ノ店

丸ほん冷蔵器

僅かの氷で非常に早くよく冷める...

丸ほん商店

丸ほん商店

阿部藥局

阿部藥局

勉強ノ店

勉強ノ店

丸ほん冷蔵器

僅かの氷で非常に早くよく冷める...

丸ほん商店

丸ほん商店

阿部藥局

阿部藥局

勉強ノ店

勉強ノ店

丸ほん冷蔵器

僅かの氷で非常に早くよく冷める...

丸ほん商店

丸ほん商店

阿部藥局

阿部藥局

勉強ノ店

勉強ノ店

丸ほん冷蔵器

僅かの氷で非常に早くよく冷める...

丸ほん商店

丸ほん商店

阿部藥局

阿部藥局

勉強ノ店

勉強ノ店

新橋の架換により 淋れ行く？鎌田南部

早くも目論み商家の移轉

平と神谷間の岡
道を一直線に架
換するに際して
鎌田山開鑿並に
新橋の架換工
事は既報の如く
今年末頃から急
よ本格的工事に
着手し今年度中
には平町新風景のモダン橋
が現出されるが、これが新
橋の架換によつて鎌田町の
賑ひは當然同橋附近に移動
されるので遊廓寄りの商家
等は早くもその自然衰微を
見越して移轉其他の對策を
目論んでゐるものも出て來
る。

躍進の小名濱 更に上水道設計

工費四十八萬圓で着工

躍進途上にある小名濱町で
はかねてから懸案の上水道
施設の實現を急いでゐるが
近く認可と共に着工、今後
二年計劃で實現する事と
なつたが工費は總額四十
八萬圓、全部を起債に仰
ぎとなつてゐる。

濱の珍珠若布 新乾燥法を實施

色が褪せずに永く置く

石城各濱に於ける若布の採
取高は三十萬貫に達し重要
海産物の位置を占めてゐる
がその乾燥方法は以前は
「砂干」といふ幼稚極まる
ものである結果、貯蔵の不可
能と鮮やかな色が褪せるこ
とによつて一般的に歓迎さ
れないため豊富な採取量も
有しながら僅かに地方の需
要を満たしてゐるだけで一
向に飛躍の跡を見ないので、
これを遺憾とした縣水産試
験場では運送に耐え得る
宮城地方で行つてゐる「灰
干」による鳴戸若布を極力
奨励することになり近く關
東方面に對して實施指導を
試みる。

福陽美術會展覽會 今秋十一月平町で開催

藤田源一、秋生天泉、大田鑑
秋民、酒井三良、坂内青風
諸君を始め本縣出身知名
畫伯の團體たる福陽美術會
では来る十一月頃第八回福
陽美術會展覽會を平町に於
て開催する事になり目下車
備を進めてゐるが、會員の
力作を展覽する外左の規定
により一般にも作品を募
集し鑑査の上入選作を陳列
する。

火藥事務打 合

平町管内火藥業者の事務打
合會は今十五日午前九時
同會會議室で開かれたが
出席約九十名、警察部長代
理として出席した山崎縣保
安課長から種々訓示あつた
。

電気も昨夜から 表公園は色彩の渦

櫻の後に次いで平一齊に點燈され、四阿屋上
町が自慢する松ヶ岡の脚燈に裝飾された五つの百燭電
はもう満開です、真紅の衣燈の光に映れて展覧された
の悲みのあつた事と同様に禁煙
の戯曲化した見度様な題材だ
。

平魚市場 株主總會

平魚市場 株式會社
株主總會 平魚市場
では二十八日午前十時
大工町魚市場で臨時株主
會を開き左記諸件を附議
取締役 監査役任期満了

人絹の解雇職工 岡崎レイヨンへ

きのふ平から十五名採用
の内の島田、下荒川、川
前第一、北白土第一、谷
川瀬相互、吉野作、共益
（十年度完納）上荒川、
野谷、上高久、南白土、
谷川瀬

カムチャツカ沖目指して 四倉の二船勇躍出帆

郡下各濱の漁業家で夏期カムチャツカ方
面に於ける鮭、鱈の漁業に出帆するもの
は近年非常に増加し何れも相當な収益を
収めて居るので各種漁業組合でも凡ゆる
便宜を講じて居るが、この遠洋漁業の先
驅として四倉町新町鈴木幸平所有船四
十八社丸（二十八噸）、渡邊吉吉氏の渡邊
丸（二十五噸）は何れも十三名乗込み
十四日勇躍出帆した、二十日迄には漁場
に到着し約四ヶ月間漁業に従事する所定である

廣野沖合を漁場に イワシの豊漁續く

有卦に入る郡下各濱
住居不定無職安達郡和水澤
村生れ前科二犯啓之助事
野春壽（三）に係る詐欺事件
に於ては本會に於て其好となり去る一月中旬平均四十九グラム位で申し分判事係り清田検査關與開廷
責に任せず、但し平町後四月下旬迄の大不漁期ない成育状態である、大敷される
同人は九年三月福島刑務
取扱 出品書は開會上鄭重
に保護すべきも災害に罹
りたる時は本會に於て其好となり去る一月中旬平均四十九グラム位で申し分判事係り清田検査關與開廷
責に任せず、但し平町後四月下旬迄の大不漁期ない成育状態である、大敷される
同人は九年三月福島刑務

小遣欲しさに邪道へ 詐欺男あす平區で公判

所を出たが義理が悪く郷
里にも戻らず、勿來町に
來て大日本炭礦物來坑の
坑夫となり合宿所に止宿
してゐたが小遣欲に不自
由して昨年十月、同町
酒井字出蔵某炭店から
衣類三點、五月二十九日
内村村官字高坂某時計店
より腕時計一個、六月十
五日同所某炭店から銀一
挺、昨年十二月一日勿來
町出蔵某炭店より洋服
外套、四月二十七日湯本
町某自轉車店よりリヤカ
一台、合計價額五十一
圓餘を言葉巧みに詐欺、
又昨年六月十九日同町白
米炭礦坂本キヤ方無銭
宿泊（三圓）を働いたもの
である

無銭男に二 年求刑

前科十五犯、二十五の青年
時代から二十二年間の殆ど
全部を刑務所に在り過した
五十男が再び囚人の人とな
り、住居不定無職山形縣
南村山田郡田村生れ金子常
松（三）が四月中旬平町谷口樓
新開、越中家等でラヂオを
盗らした事件は今十五日
午前十時法務部關與公判開
事係り清田検査關與公判開
延後二年を求刑された、
言渡しは来る十八日

坊やの名前 可愛坊や

五月青葉のそよ風と生れた可愛坊や
姓名學で名をつけて日毎に太つて丈夫にそ
だつ、やがて黄金の波湧きて、一生幸福良
名の坊や

實家、静岡産地、茶問屋 卸小賣大角園

製産家カラ直接需用家へ
香味自慢生一本小笠銘茶
安價提供出來ル皆様ノ店
買テ喜ビ賣テ喜ブ理想ノ店
炭礦荒しに 内郷村
徵役一年半 綴宇川
原田木貨倉奥州屋 止宿山形

十四年行方不明の 兄が居るぞ！

川前の智さん平署へ
今十五日午前十時頃平署に、込み矢も頼もたまらず
十四年間行方不明になつて出たものである、兄の遺
る兄を探して下さいと願は身長五尺二寸、左眼の下
に出た四十男があつた、右
は川前村下柳實業會田澤吉
次男永山智智（五）の弟（五
三）が去る大正十二年の秋出
稼ぎに行つて二十二年の出稼
稼ぎに於て十四年間音信を
絶つてゐた「兄」の智
さんは最近血眼で八方探ね
めぐんだ結果湯本町勿來
小名濱町鈴木幸平所有船
丸（二十五噸）は何れも十三名乗込み
十四日勇躍出帆した、二十日迄には漁場
に到着し約四ヶ月間漁業に従事する所定である

武久やい 八年前の失踪に 實父から

白河町會津町小湊平吉長男
武久（三）は今から八年前失
踪、今もつて行方不明だが
平吉は老衰、母のトラさん
は重病で働けず手がなから
と平吉から

天氣 豫報

今晩は北の風、明日
は北の風、一時晴

十六日 日誌

日誌
六月三日 月夜、一〇三
日誌
六月三日 月夜、一〇三
日誌
六月三日 月夜、一〇三

志賀齒科醫院

日本齒科 志賀 與市
日本支那部 鵜沼 孝昌
（平町新町三三）

電話 一三二一番

電話
一三二一番
電話
一三二一番

七十七銀行平支店

七十七銀行平支店
電話 四一四番

志賀齒科醫院

志賀齒科醫院
日本支那部 鵜沼 孝昌
（平町新町三三）

坊やの名前 可愛坊や

坊やの名前
可愛坊や

實家、静岡産地、茶問屋 卸小賣大角園

實家、静岡産地、茶問屋
卸小賣大角園

志賀齒科醫院

志賀齒科醫院
日本支那部 鵜沼 孝昌
（平町新町三三）

志賀齒科醫院

志賀齒科醫院
日本支那部 鵜沼 孝昌
（平町新町三三）